

池袋駅西口地区 まちづくり ニュース

19
2012年
10月

発行：池袋駅西口地区まちづくり協議会

第6回全体協議会が開催されました！

〔日 時〕平成24年9月3日（月）
午後7時～午後8時30分
〔場 所〕豊島区立勤労福祉会館6階 大会議室
〔参 加 者〕23名

3月の第5回全体協議会で、「まちづくり方針（素案）」を承認いただき、6つの方針のうち「まちに新たなにぎわいや魅力を創出する」ことが、全ての方針の土台となり、最も大切であるというご意見を数多くいただきました。

今回は、「池袋駅西口地区のにぎわい」という観点から、平成21年度に検討をしていた「まちづくり構想案C案・D案」のイメージを、よりふくらませていただき、広場や建物低層部等に関する事例写真を用いて、皆さまで意見交換を行いました。

第6回全体協議会 開催の様子



当日の流れ

- 平成21年度まちづくり構想案（A～D案）、平成23年度まちづくり方針（素案）の説明
- まちづくり協議会案に関する意見交換
- 意見のまとめ、グループ発表

まちづくり構想案

※池袋駅西口地区まちづくり協議会で検討したまちづくり構想案（A～D案）のうち、現在の協議会のエリアの「C案」「D案」の2案について検討を行いました。

〔C案〕



〔D案〕



○事例写真の紹介（一例）



新宿オペラシティ



丸の内仲通り



新宿アイランドタワー

Aグループの皆さんのご意見

○事例写真に関するご意見

- ・新宿オペラシティは、各フロアから円状の広場を望めるような造りになっており、にぎわいが創出できると思う。
- ・川崎ラゾーナは、ステージを中心とした広場がある。池袋駅西口地区では、ビルとビルの間にステージを作ること案として考えられる。
- ・池袋駅西口地区は、後背地に住宅街が広がっている。その視点で写真を選ぶと、丸亀の事例は住んでいる人が、自分たちが利用できるまちを作っている事例である。
- ・竹下通り、渋谷スペイン坂などは既存の商店街でにぎわっている事例。地元が主体的に参画して作ったまちで、ごちゃごちゃしたような感じが魅力的である。

○まちづくり構想案に関するご意見

- ・広場は、現在の池袋西口公園を大事にしたい。芸術劇場と連携した公園のあり方は今後も重要な位置づけである。
- ・D案は、駅前に大きなビルが直近まで迫ってきている点が気になる。建物低層部の造りこみでイメージが変われば良い。



Aグループまとめ

- ・にぎわい、回遊性が表れている事例が良い。
- ・環境をテーマとした事例も参考にしたい。また、防災の観点から事例を見ることも必要。
- ・大手デベロッパーが作った街では、どこも同じような街になってしまう。まちに必要なブランドとはなにかを今の段階から考えることが必要。
- ・建物に何を配置するかでにぎわいの度合いが大きく変わってくるのではないかな。

Bグループの皆さんのご意見

○事例写真に関するご意見

- ・新宿アイランドタワーは、地下と地上のつながりがうまくできている。地下のにぎわいが地上からも良くわかる。西口地区にもこのような広場がほしい。
- ・六本木アークヒルズのマルシェの雰囲気がいい。屋根があって、雨風を避けることができるし、広場に向かう途中の緑もいい。

- 丸の内パークビルディングは緑が多く、噴水もあって雰囲気がいいと思う。
- 恵比寿ガーデンプレイスは駅から離れているが、歩いていて楽しい。地上と地下を自然に行き来できる。
- 赤坂サカスの低層部の造りこみがいい。西口地区は、もっと商業施設と集客施設の割合が多くなると思うがあてはまるだろう。
- 丸の内仲通りは賑やかでなかなかいい。丸ビルの1階ロビーでイベントを行ったりして、いい雰囲気になっている。

○まちづくり構想案に関するご意見

- 西口地区では、オフィスよりも店舗の需要が圧倒的に多いと考えられる。オフィスをただ上に作るのではなく、サンシャインのようにある程度の高さまで商業施設や集客施設を作るべき。
- 今回の事例写真と比べると、西口地区は規模が小さい。C案D案は、建物ボリュームが小さい。建物面積を拡げて、路面店をもっと増やしてはどうか。
- 路面店を大事にしてほしい。低層階を親しみある空間にしなければならない。
- 広場にマーケットがあるようなイメージが大切。いろいろな階層のお客さんが集まればいいと思う。
- 西口地区のまちづくりを考える際に、スケール感も重要な要素だと思う。
- C案D案の、2棟の建物の内、一方の規模が劣ることは避けた方がいい。同規模の建物を並べ、その間にある程度雨を避けられる屋根を作り、そこを歩いて芸術劇場に向かうと良い



Bグループまとめ

- 池袋に相應しい規模を考える必要がある。広すぎても冷たい感じがある。
- 屋根がかかっている方が快適だが、維持管理コストがかかる点が気になる。
- 大手デベロッパーの事例が多かった。大手ではなく地元から賑わいを出しているような事例が見たい。
- 予算がどの程度かかるのか、そういった事業上の視点も必要。
- 店舗と事務所のボリュームがどの程度のバランスになるのか、検討が必要ではないか。

Cグループの皆さんのご意見

○事例写真に関するご意見

- 丸の内パークビルディングと赤レンガ倉庫は、従来のレンガを生かした建物なので、池袋の雰囲気と違う。
- 恵比寿ガーデンプレイスのような、半地下から間口が広い状態で地上に上がってくるような仕掛けを西池袋にも作っていくべき。
- 六本木アークヒルズのマルシェは、いろんな人が携わって、まちおこしができるのですごくいいと思う。
- 渋谷が面白い。路地が迷路のようになっていて、角を曲がるとまたお店があり、どんどんまちが広がっている。

○まちづくり構想案に関するご意見

- ・雨が降るといい広場を作っても、人はいなくなってしまう。屋根のある全天候型の広場に賛成である。
- ・地下道から地上が見えるようにし、地上にすぐ上がれるようにしないと、人は地上に上がってこない。
- ・再開発ビルは地下道とつながると思うので、池袋に何万人の人が来てもみんな地下を利用してしまふ。よほど出やすい間口と、その先に何か魅力がないと結局今と変わらない。
- ・本当に高層ビルを2棟建てることにみんなが参加できるのか実現性が疑問である。
- ・基本的に、新しいものを建てると次の瞬間に古くなる。最初から古いイメージのものを作れば、時間とともに価値が増す。
- ・池袋らしさとして、商店街の多さは日本でも有数だろう。中小企業が横のつながりを持ちながら一生懸命商売をやっている。大型ビルだけになってしまつては、商店街の人はいなくなつてしまい、池袋らしさは遠のいてしまう。



○その他

- ・緑を増やす地道なまちづくり活動も必要だが、商業施設や大きなビルも必要だと思う。ソフトとハード両面をどのようにうまく組み合わせていくかが大事。

Cグループまとめ

- ・地下から地上へあがっていくような仕掛けづくりが必要。
- ・西口にある商店街の雰囲気、路地空間の雰囲気の良さをどこかに残して作って欲しい。
- ・商業ビルと事務所ビルをどう組み合わせていくか、地元の意見もふまえ、検討をしていく必要がある。

西口公園にトピアリーが誕生しました！

9月、西口公園に「トピアリー」・「Green×Art 西池袋みどりのアートカフェ」が誕生しました。年間を通してイベントや祭りなどでにぎわっている西口公園に、芸術劇場のリニューアルオープンとともに新たなシンボルができました。今後、秋から冬にかけて多くのイベントが予定されている西口公園を、まちづくりの一環として体感してみてください。



※緑のアートカフェは、緑の立体造形トピアリーやグリーンウォール、緑の中で立食できるグリーンスペース等で構成され、緑を生かして滞留スペースを作り日常のにぎわいも創出するものです。
※トピアリーとは、「植物を人工的・立体的に形づくる造形物」のことをいいます。

●お問い合わせ（池袋駅西口地区まちづくり協議会事務局）

豊島区 都市整備部 都市再生担当課

電話：03-3981-3449 FAX：03-5950-0803

E-mail：A0029233@city.toshima.lg.jp